

2023年度

科目名称	動物看護学概論
授業コード	BC255
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	小野寺 温 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>獣医療および動物看護の歴史を幅広く知ってもらい「愛玩動物看護師という職業はどのように生まれたのか」について学んでもらいます。これに加え、動物看護師にとっての基礎の考え方である「職業倫理」や「役割」について学び、専門職としての社会的責務を理解し、職業意識を形成してもらいます。さらに将来の動物看護師の役割について探求する姿勢も養ってもらいます。</p> <p>本科目は「愛玩動物看護師カリキュラム」対応科目である。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	動物看護の経験がある教員が臨床経験を活かし、獣医療および動物看護師の歴史や業務、職業倫理について講義を行う。
到達目標	<p>【科目特有の知識・技術についての到達目標】</p> <p>本科目の到達目標は、大項目として「動物看護の基本となる概念」、「動物看護の提供体制」、「愛玩動物看護師の社会的立場」の3つを理解することである。詳細な内容としては、獣医療と動物看護の歴史、愛玩動物看護師の役割、動物看護者の倫理綱領等の基本となる概念から、社会における動物病院の役割、業務指針、インフォームドコンセント、診療録（カルテ）と動物看護記録の作成、労働安全衛生、愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、国際的な業務や資格制度との違いなど幅広い知識を習得していく。本科目は、人と動物の『共生』を科学的な視点で分析・理解・表現できるようになるための基礎科目である。</p> <p>【汎用能力としての学士力についての到達目標】</p> <p>動物にかかわる基礎知識と専門知識を幅広く有し、「人間と動物のよき共生」という視点から社会に貢献できる人材となれるように、動物看護への興味と理解を深め、日常の中からさまざまな問題点を抽出し、問題解決にとりくめる能力を修得する</p> <p>なお、本講義はカリキュラム・ポリシーに掲げる「関係資格取得のためのカリキュラム」に該当する。</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動物看護の基本となる概念（目的と概念） 予習：動物看護とは何かを考える 2) 獣医療の歴史 予習：動物に関連した歴史（公衆衛生や法律など）を調べる 3) 動物看護の歴史 予習：前回の内容を復習しておくこと 4) 獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領 予習：動物看護師の倫理とは何かを調べる 5) 動物にとっての健康、福祉、QOLについて 予習：前回の内容を復習しておくこと 6) 動物看護の提供体制：社会における愛玩動物看護師の役割 予習：動物看護師の業務について調べる 7) 一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携 予習：身近な動物病院を2つ以上調べる 8) インフォームド・コンセント、セカンドオピニオン、守秘義務について 予習：飼い主にとって必要な情報とは何かを考える 9) 診療録（カルテ）と動物看護記録の作成、保存義務について 予習：第4・8回の内容を復習しておくこと 10) 職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について理解する 予習：愛玩動物看護師の業務を復習しておくこと 11) 愛玩動物看護師の社会的立場：職能団体について 12) 愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関について

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>予習：第6回の内容を復習しておくこと 13) 愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体について 予習：愛玩動物看護師と関連する組織や団体を調べる 14) 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い 予習：第12回の内容を復習しておくこと 15) まとめ 予習：動物看護学とは何かを考え、今までの授業内容を復習する</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>主に教科書や参考図書、スライドを用いて進行する。 授業時間外の学習は、各回のシラバスの下に表記しているものを参照して実施すること。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に各回の復習に役立つような課題を与える。課題に取り組むことで習得度の確認を行い、自ら授業資料等を確認しながら作業することで、各回の理解度を高める手助けをする。 ・グループにて課題についてのディスカッションを行い、考え方の共有や課題についての解決案を導いていく。
<p>授業時間外の学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に各回に記載されている予習の箇所を行っておくこと（各回1時間～2時間） ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理事務すること（合計60時間程度）
<p>教科書・参考書</p>	<p>主教材は、教科書および教員が配布する資料。 筆記用具、ノート、資料を保管するためのA4版のファイルを、各自準備すること。</p> <p>教科書： 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻(動物看護学概論/人と動物の関係学/生命倫理・動物福祉)</p> <p>参考書： 認定動物看護師教育コアカリキュラム2019 準拠 応用動物看護学1 (動物看護学概論 人間動物関係学 動物福祉・倫理) 専門分野 基礎動物看護学 (全国動物保健看護系大学協会 カリキュラム検討委員会・インターズー) 動物看護実践ハンドブック (著 HILARY ORPET, PERDI WELSH 監訳 櫻井富士朗・インターズー) 動物看護学・総論 (日本動物看護学会教科書編集委員会・インターズー)</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>成績は15回目に実施する試験(70%) + 出席(30%)にて評価する。 遅刻・早退・欠席をする場合には、事務室にある理由書に記入し提出すること。 理由書のない遅刻・早退は欠席となる。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>講義内に小テストを実施した場合には、その日の内に解説を行う。 また、学生が発表した際には、その都度コメントを行ったりなどする。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>動物関連の職業を目指す人にとっては基礎となる内容である。 授業日程は変更される可能性があるので注意すること。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方 非対面の場合には、CampusSquareの掲示板にてオンデマンド型で授業資料や動画を配信する。</p> <p>成績評価方法と基準 試験(50%) + 授業(50%：授業資料のダウンロードの有無やアウトプットタイム参加の有無)の評価とする。</p>